

1 太郎さんは自由研究のテーマとして財政の問題を取り上げ、クラスで発表することになった。次の文章は、太郎さんの発表の一部である。これを読んで、問1～問7に答えなさい。

政府が行う経済活動を財政といいます。政府は新しい年度が始まるのに先立って、1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の計画を立てます。これが予算です。そして、国会の承認を得て、実行に移すのです。まず、資料1を見てください。

資料1 わが国の一般会計(歳入)の推移(1989年度～2009年度)

年度	租税収入		租税以外の収入		公債金		合計
1989	54,227,000	81.78%	4,973,892	7.50%	7,111,000	10.72%	66,311,891
1990	59,131,000	84.90%	3,208,131	4.61%	7,312,046	10.50%	69,651,178
1991	58,990,000	83.54%	4,893,465	6.93%	6,730,000	9.53%	70,613,465
1992	57,631,000	80.61%	4,322,671	6.05%	9,536,000	13.34%	71,489,671
1993	55,680,000	71.90%	5,583,498	7.21%	16,174,000	20.89%	77,437,498
1994	50,816,000	69.20%	6,124,517	8.34%	16,490,000	22.46%	73,430,517
1995	50,681,000	64.95%	5,321,006	6.82%	22,032,000	28.23%	78,034,006
1996	51,736,000	66.52%	3,667,231	4.72%	22,368,000	28.76%	77,771,231
1997	56,226,000	71.60%	3,849,160	4.90%	18,458,000	23.50%	78,533,160
1998	50,165,000	57.01%	3,826,485	4.35%	34,000,000	38.64%	87,991,485
1999	45,678,000	51.31%	4,724,897	5.31%	38,616,000	43.38%	89,018,897
2000	49,895,000	55.58%	5,277,227	5.88%	34,598,000	38.54%	89,770,227
2001	49,625,000	57.47%	6,727,555	7.79%	30,000,000	34.74%	86,352,554
2002	44,276,000	52.91%	4,444,985	5.31%	34,968,000	41.78%	83,688,984
2003	41,786,000	51.00%	3,708,569	4.53%	36,445,000	44.48%	81,939,569
2004	44,041,000	50.69%	6,247,704	7.19%	36,590,000	42.12%	86,878,703
2005	47,042,000	54.26%	6,193,828	7.14%	33,469,000	38.60%	86,704,827
2006	50,468,000	60.47%	5,520,342	6.61%	27,470,000	32.91%	83,458,343
2007	52,551,000	62.71%	5,821,192	6.95%	25,432,000	30.35%	83,804,191
2008	46,429,000	52.22%	9,314,213	10.48%	33,168,000	37.30%	88,911,213
2009	36,861,000	35.94%	12,242,156	11.94%	53,455,000	52.12%	102,558,156

(単位:百万円)
(財務省ホームページ財政統計から作成)

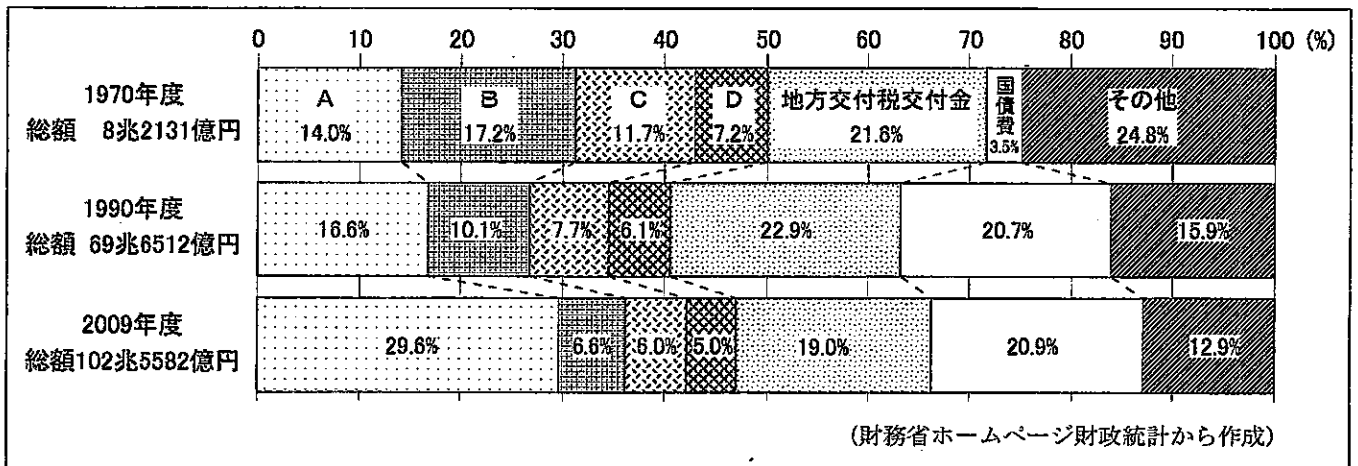
これは、1989年度から2009年度までの歳入の推移を表したものです。政府は国民からの租税(税金)を徴収して、財政を行います。租税収入に着目してみましょう。

① 最も多かった1990年度に比べると、最も少なくなった2009年度は、約 兆円減っていることがわかります。租税収入の不足を補うために、政府は公債(国債、地方債)を発行して、国民などからお金を借り入れることがあります。しかし、公債をたくさん発行すると などの問題が起こるので、発行は慎重に行うべきなのですが、2009年度は、歳入に占める公債金の割合が50%を超えています。

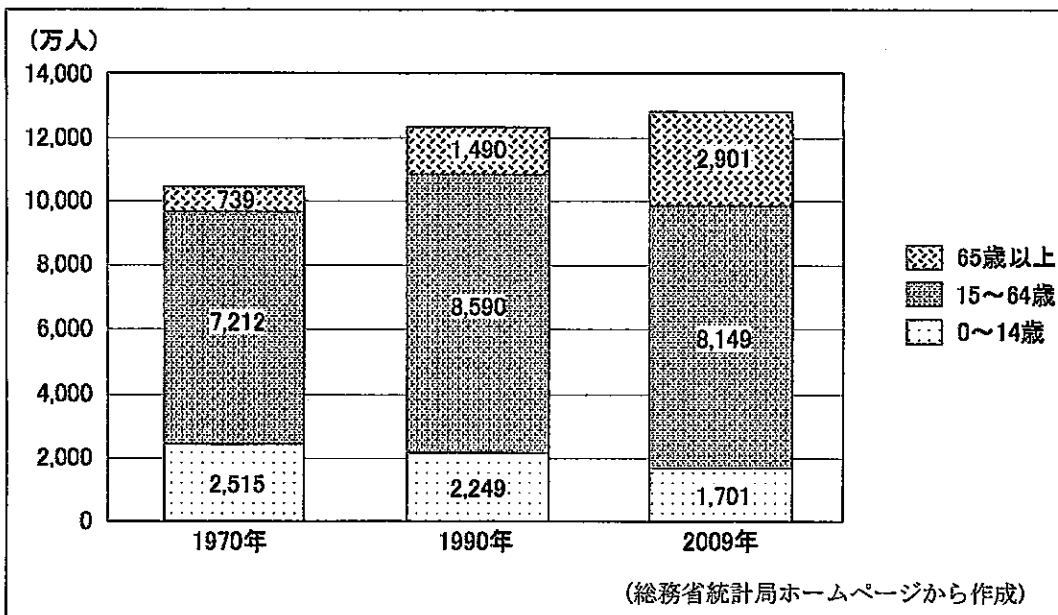
次に、資料2と資料3を見てください。資料2は、1970年度、1990年度、2009年度の歳出を比較したものです。資料3は、1970年、1990年、2009年の年齢3区分別人口を比較したものです。資料2の (グラフの項目A)が急激に増加しているのは、資料3から読み取ると、 のためだと考えられます。

このように現在のわが国の財政は深刻な問題を抱えています。将来の日本はどのような国をめざせばいいのか、またどのような財政のあり方が望ましいのか、皆さん一緒に考えてみませんか。

資料2 わが国の予算(歳出)に占める項目の推移



資料3 わが国の年齢3区分別人口の推移



問1 下線部㉗に関連して、政府では消費税率の引き上げについて議論がなされている。消費税率が上がった場合に、考えられる社会への影響や変化を一つ書きなさい。

問2 下線部㉘のように、租税収入が減っている主な要因を一つ書きなさい。

問3 に入る数字を、千億のくらいを四捨五入して整数で書きなさい。

問4 に当てはまることばを書きなさい。

問5 に入る適当なものは、①~④のうちではどれですか。

- ① 公共事業関係費
- ② 社会保障関係費
- ③ 防衛関係費
- ④ 文教及び科学振興費

問6 に当てはまることばを書きなさい。

問7 太郎さんは自由研究の発表をするにあたって、インターネットを利用した。調査やレポート作成で、インターネットを利用することの利点と注意すべき点を、それぞれ一つずつ書きなさい。

2

次の文章を読んで、問一～問四に答えなさい。

著作権の関係上、掲載できません。

(出典 野口恵子「かなり気がかりな日本語」)

(注) 日本語母語話者……生まれて最初に日本語を覚えて、話すようになった人のこと。

問一 ①の部分②、③を漢字に直して楷書かいしよで書きなさい。

問二 ④に入れるのに適当な一文を考えて書きなさい。

問三 ⑤「必ずしも言語を用いる必要はない」のあとの⑥には、具体的な伝達方法がいくつか入る。あなたが考える具体的な伝達方法を一つ書きなさい。

問四 他者とコミュニケーションをとる上で大切なことは、どのようなことだと考えますか。この文章の内容を踏まえて、あなたの意見を二百字以内で書きなさい。ただし、「、」や「。」も一ます使いなさい。